



# 榊山神社だより

平成 23 年 9 月  
6 号

## ■ 夏祭りが終わって

今年も無事、夏祭りが終わりました。四月、五月頃は三月十一日の東日本大震災の影響で自粛と言う声もありましたが、「元気にしよう日本、がんばれ日本」の掛け声の下、祭元(植苗木)、富籤(長根)、余興(川西)の方々、氏子総代、各自治関係者の方々のご尽力により従来と変わらぬ祭りが出来たことに感謝いたします。今回の祭りで特に思うことはこの地方では大きな災害が起こりませんでした。東北地方の方々の悲しみに対して何が出来たのだろうかという疑問と、祭りの存在意義を改めて考えさせられたことです。祭りというものは神様に対し畏敬の念を持って接し良き事、悪き事を記録すること、後世に伝えること。地域の子供からお年寄りまで祭の催行のため、ひとつになれること。榊山神社のメインである「叩きまつり」も過去に起こった出来事を後世に伝える為のものだと考えられます。一説には社を植苗木から苗木に移す際、供の者が今場所から動かなくなったので榊で叩いたからと謂れています。それとは別にこの地方の過去において流行病が発生し、多くの方が亡くなったので、病気になるまいよう祓ったことからとも言われています。真実は後の説が正しいのではないかと思います。毎年、祭り当番

地区の方々に  
は五年に一回  
の役割り

苦労していただいておりますが、祭りを成功させるまでの期間が地域の方たちとのふれあいの場であり、心ひとつになれる場があります。このような場があるから日本人の絆、誠実さ、他を思う心の優しさが自然と身に付いているのだと思います。

この榊山神社のお祭りや各地区の神社お祭り、さらには家単位でのお祭り全てが家族の結びつき、地域の人達との結びつきを強めるものです。更なる思いを以って祭りを考えてみてください。

## ■ 東日本大震災による神社被災状況

榊山神社では震災に遭われた神社に対し五月、復興義捐金として神社会計から十五万円、宮司個人で五万円、寄付を行なったことを報告いたします。

被災状況については被災神社数、三千三百八十六社、その内、全壊二百二十八社。復興義捐金納付状況については六月二十二日時点で全国神社関係より十億二千万円集まりました。この義捐金は被災した神社の職員(神職・事務員)の生活資金および神社存続の為の神社本殿等の修復、復興に使われます。

現在も個人からの義捐金も受け付けております。榊山神社宮司までご連絡ください。

## ■ 伊勢参拝旅行

毎年多くの方に参加していただきましてありがとうございます。

平成二十四年新春伊勢参宮旅行の日程は一月十三日(金)、一月十四日(土)の二日間です。宿泊場所は志摩ロイヤルホテルと決まりました。

平成二十五年の式年遷宮も真近かとなり神宮も様変わりしてきております。この機会に神宮の杜に参拝し、お神楽などを見て心の洗濯をしてはいかがでしょうか。

## ■ これからの榊山神社の神事

十一月十三日(日)・・・七五三祭り  
お子さんたちの元気な姿を神様に報告し無病息災の祈願をいたします。

十一月二十三日(水)・・・秋祭り  
新嘗祭、感謝祭とも云い、今年の秋の収穫を感謝するお祭りです。榊山神社では餅投げと甘酒を皆さんに振舞っています。

## ■ 巫女アルバイト募集

正月三が日の3日間、巫女のアルバイトを募集します。高校生以上の女性で未婚の方。連絡先は氏子総代長の長瀬昌俊まで。TEL: 72-2957

## ■ 岐阜県神社庁ホームページの照会

岐阜県神社庁登録神社のことがわかる

ホームページが出来ました。興味がある方はご覧ください。検索ワード「岐阜県神社庁」  
<http://www.gifu-jinjacho.jp/>

## ■ 報告

現在、榊山神社の参道の灯ろうが傷んでおり修理が必要となっております。修理は近く行う予定ですが、地震で倒れるなどの危険が常に伴う構造物です。特に子供さんには絶対灯ろうの周りで遊ばないよう、伝えてください。

## ■ お願い

最近、神社の森に入って榊を採っている人が居ます。その為か、少なくなっております。神社の榊は神社で使用する財産です、採らないようお願いいたします。見つけたら注意をお願いします。榊山神社の祭りには多くの榊を使用するので将来、榊が確保できるか心配です。

## ■ 最後に

この神社だよりを作成中に台風一二号が日本列島を襲いました。被災に遭われた地方の方に対してお見舞い申し上げます。この地方は幸いにも被害はありませんでしたが、阿寺断層により地震が起こる兆候があると新聞等で伝えていきますので注意したいものです。